

間違いを即座に指摘・共有し、 “気づき”を促す授業を推進

CASE Study

Vol. 07

〔慶應義塾幼稚舎〕

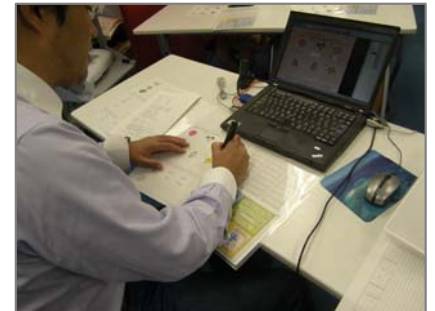
プリント資料に書き込めて、さらに生徒にも“書かせる”を実現。デジタルペンを用いた新たな教育ICTツール「OpenNOTE」。実際に授業でご活用されている先生にお話を伺いました。(OpenNOTEは、OpenSTAGEの姉妹品です)

◆こちらの先生にお話を伺いました！



慶應義塾幼稚舎
教諭
清水 建詞氏
(Kenji Shimizu)

清水先生は、生徒全員の書いた情報がリアルタイムに表示されるパソコン画面から、生徒の解答状況をチェックします。必要に応じ、自席からデジタルペンで各生徒の解答画面に訂正やコメントなどの上書き記入を行います。



生徒の解答状況をパソコン画面からチェック。誤解答の生徒に訂正を行う清水先生

■OpenNOTEの活用方法について

1. 設問ごとの生徒の解答状況を比較

画面に表示されているテスト用紙の範囲を絞り、生徒が解答中の設問部分だけ表示することにより、全生徒の解答状況をスクロールなしに閲覧できます(図1)。誤った解答を書いている生徒などを即座に見出し、指導することができます(図2)。

図1: 生徒全員の解答状況を設問ごとに表示

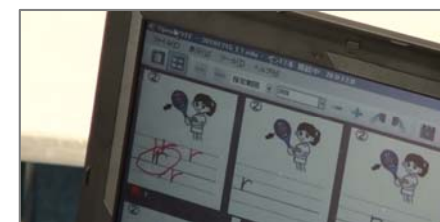
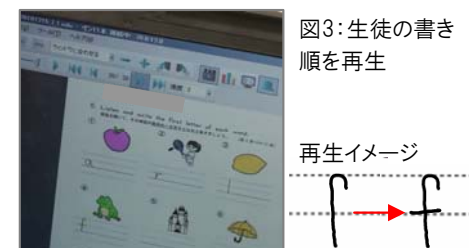


図2: 生徒の設問画面にコメントを上書き記入

2. 書き順の再生

アルファベットや単語を書く問題では、生徒の書き順を再生しています(図3)。

図3: 生徒の書き順を再生



再生イメージ

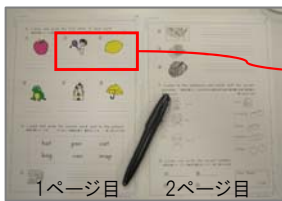
問題の正誤だけでなく、書き順や問題の解き方を生徒達に見せることで、間違いを共有し、分かり易く説明することができます。

■用途

小学校4年生(1クラス12名)の英語の授業でOpenNOTEを活用しています。

今回の授業では前週に行った期末テストの復習の為、OpenNOTE用の用紙にテストの内容をプリントして使いました。

今回の授業で使用したOpenNOTE用の用紙(期末テスト用紙)とデジタルペン



■活用方法

大型テレビを教室の前に設置し、パソコン画面(OpenNOTE)を映します。



授業の様子

各生徒にOpenNOTE用の用紙(以下、テスト用紙)とデジタルペンを渡し、問題を解かせました。



デジタルペンでテスト用紙に解答を書く生徒達

3. リアルタイムに解答状況をグラフ表示

回答率が低かったリスニング問題(清水先生が数字を英語で発音し、生徒がその数字を解答する問題)では、どの数字に聞き違えることが多いかをリアルタイムで把握する為に、OpenNOTEのリアルタイムアンケート機能(グラフ表示)を使いました。

解答方法を選択式にして(図4)、清水先生が発音した後に、生徒が正解だと思う数字の色(図5)をデジタルペンでタップすると、結果が画面に表示されます(図6)。

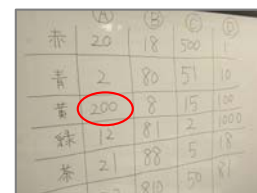


図4: 選択肢の例
問Aで「200」と思うのであれば黄を選択



図5: デジタルペンでタップする部分

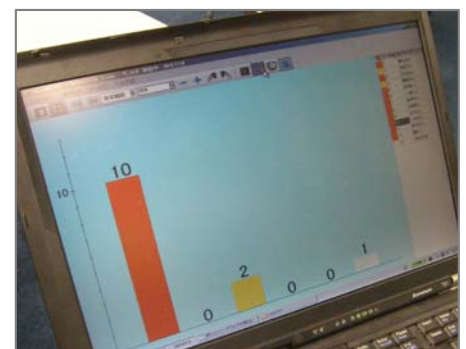


図6: 各生徒がタップした色(写真右端)と、各色に対する選択人数が棒グラフで画面に表示

■清水先生の感想

～OpenNOTEの活用法～

単純なアルファベットの書き取りですとか、私が発音した単語や文章をききとって文字を記入するスプリングなど、クイズ的な要素も取り入れています。

～OpenNOTEのメリットについて～

間違いを即座に指摘できるところです。小学生向けの英語で使うので、アルファベットの書き方などから丁寧に教えているのですが、書き順や記入位置(テキストのガイド線に沿って書いているか、ずれているか)など細かいところの指摘をその場で行え、間違いを正すことができるところがすばらしいです。

私は、正解だけでなく、**間違った解答を皆で共有**することで「この解答は何故違うのか」を本人だけでなく、**全員が気づき、間違いから学ぶことが重要**だと考えています。

OpenNOTEは、そのような**気づきを促す授業スタイル**にとっても向いていると思います。

～その他のメリットについて～

生徒の集中力がアップします。答えを書くときに、慎重に考えてから書いている感を受けました。特に、落ち着きがない生徒に効果があります。



解答に集中する生徒達

単にテキスト中心の授業だと、生徒の関心がわからずそっぽを向かれてしまったり、授業へのモチベーションが上がらなかつたり・・・という事態になりがちです。

私はデジタルペンを「ビリビリペン」と紹介している(キャップを抜いたときにブルッ震えるため)のですが、このような新しいデバイスを使って授業をすること自体、生徒にとっては**興味を掻き立てる効果**があるようで、使わない場合と比べて集中して授業に参加するようになったと思います。

私はこういったツールを授業における「スパイス」と位置づけています。授業の印象度をアップすることで生徒の意欲を高め、結果的にそれが学習効果の向上につながる・・・、そのための効果的な演出のツールだと思います。

もちろん、**自分の回答が即座に映し出される**ことも、集中力のアップにつながっています。また、**違う意見を持っている人もいる**ことを気づかせることができます。

私自身も、手元のパソコンから全員の記入状況を確認することができるので、生徒のいろんな視点からの解答案をすばやく掴み、さらに手元の紙から生徒の紙(データ)に書き込めるので、**授業全体にスピード感**を持たせることができます。

～生徒からの感想～

「〇〇君の考え方がわかって参考になる」や「ペンの動きが面白い」といった声が多く、インパクトがあるツールだと思います。

～今後の活用方法について～

OpenNOTEは**履歴が残せる**ところもよいと思っています。例えば、英作文の授業において、どの過程でペンが止まっているのかを見ることで、**止まっている原因**—それが語彙の問題なのか、文法の理解度の問題なのか、など—**をある程度紐解き、指導に役立てる**ことができると思います。

～他の授業での活用について～

中学の英語も受け持っているので、是非**中学の授業でも使ってみたい**と思っています。

英語以外では、数学の文章問題など、**考える過程を把握する必要のある授業**が英作文同様効果的だと思います。

OpenNOTE

ここがポイント☆

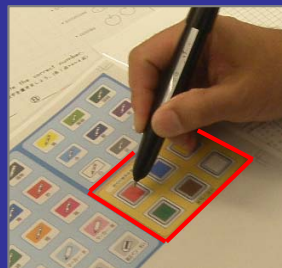


赤・青・黄・緑・茶・白の6色から選択!

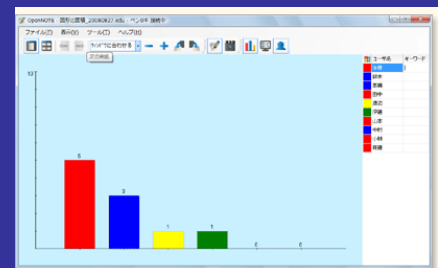
～リアルタイムアンケート機能(グラフ表示)について～

リアルタイム、かつ手早く解答の統計を取りたい場合は、リアルタイムアンケート機能(グラフ表示)が便利です。

清水先生が英語で発音した数字「twenty」に対して、生徒が正解だと思う数字の色(20⇒「赤」、2⇒「青」、200⇒「黄」、12⇒「緑」、21⇒「茶」、100⇒「白」)をデジタルペンでタップ。



デジタルペンで該当する色をタップします。



タップされた色ごとの人数と、誰が何色をタップしたかがリアルタイムに分かります!

●OpenNOTE、OpenSTAGEは、大日本印刷株式会社の商標です。
●その他すべての社名、ブランド名、製品名は各社の商標または登録商標です。